

令和元年度第5回奈良市プロポーザル方式採否審査会会議録

開催日時	令和元年8月9日（金）午後1時15分から午後1時15分		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5階 庁議室		
出席者	委員長	西谷副市長	
	委員	萬谷法令遵守監察監 吉村総務部長 奥田環境部長 梅森観光経済部長 荻田都市整備部長 木村建設部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	産業政策課
議題 又は 案件	1 奈良市成長志向起業家育成事業（NARA STAR PROJECT）業務委託		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>担当課 奈良市成長志向起業家育成事業作りの一環の事業で、今回は前回の（第4回のプロポーザル採否審査会で審査した事業）で育った人材や、奈良に元々存在している基礎的人材を、更に大きく育てていくための支援を行うものです。これまでのプロジェクトの事業につきましては、起業家を育てるメンターの機能が不十分であり、それに加えて VC 等の投資家との繋がりや事業者の人脈を活用した総合力・技術力・実績等の突出する能力等、様々な能力が必要となるため、新たな事業者の選定を行うためにプロポーザル方式を採用したいと考えています。</p> <p>委員 どのような業種の参加を想定していますか。</p> <p>担当課 2017年度と2018年度の事業では成長カリキュラムで行ってきた講座的なものではなく、各起業家・事業者さんにコミットし、起業して一定の成功された方々の経験値をもった支援を求めているので、本事業では、起業家集団や、投資活動をされている方とか、起業して成功した経験値のある集団等を想定しています。</p> <p>事務局 予算概要で、元年度から、2、3年度と段々予算が減る理由は何ですか。</p> <p>担当課 ベンチャー移行システムの構築というもので、自走して、このエコシステムを回すのが最終目的なので、このプロジェクトに金融機関やベンチャーキャピタル等も巻き込んで、そこからの資金で、次に、育てられた起業家が支援者側に回ることで公的な支援を減らしていくイメージです。</p> <p>委員 1期生、2期生合計9名の卒業生の方も育成・支援の対象となるのですか。</p> <p>委員 今年度から3年間、14、5名、20名をこの予算で本当にその方が補助してくれるのですか。段々予算が減っていく中で支援や助言とかをちゃんとしてくれるのか、そこが凄く不安があるのですが、そのあたりどうお考えですか。</p>			

	<p>担当課 1期生の方でも、売上げ1億を超える方もいて、全体的に事業が伸びていますので、だんだんと支援は必要なくなります。むしろ令和3年度からは支援者側に回っていただくということが起こっていった、その部分の経費は削減できるという計算をしています。一定の集団を作ることで、このエコシステムが成り立つので、つなぎとめる意味でも1期生、2期生を巻き込んでいきたいと考えています。</p> <p>委員 これまでの事業者からプロポーザルで新しい事業者にするわけですが、事業者が変わった場合、これまでの支援者の結果等の把握をしないのでしょうか。</p> <p>担当課 1期生、2期生も次の新たな事業者の時には、その事業者の下で、サポートや状況把握をします。1期生・2期生についても完全に無視してしまうというスタンスではないので、逆に協力してもらい、市が自分サイドに取り込んで、動いて貰うことも十分出てくると思います。仰る通り効果測定というのは、しっかり把握しておかないといけないと思います。</p> <p>委員 プロポーザルを採用する場合、審査基準、重視する点は、何を基にどんな業者を選んでいくことを想定していますか。</p> <p>担当課 経験値は重要と考えています。これまでの支援は理屈上のものだったので、そこに経験値をプラスすることがポイントになると思います。そういった経験値のある方をどれだけ確保できるか、それとネットワークの確保・構築というのは大きなポイントです。また、ただ単にその人達を引張り上げるのではなくて、そのノウハウや経験を受講生の支援にどう反映させるかの具体的な提案や、それらを総合して奈良市の地域特性の中でそれを提案できているかは大切だと考えています。</p> <p>委員 事業の拠点はどこですか。きらっ都奈良ですか。</p> <p>担当課 ベースとなるのは「きらっ都奈良」です。もちろんベンチャーエコシステムの中で他との連携も発生してくると思いますので、ただそこじゃないと出来ない事業ではないので、事業者と相談しながら、実態に沿った形になります。</p> <p>委員 事業者は市外であっても可能ですか。</p> <p>担当課 奈良市内で事業を主にされている方であれば、住所地は市外でもそれはもう良いです。これから起業を考えている方の掘り起こしは、「奈良に帰ってきて起業しませんか」という取り組みをしています。</p> <p>委員 こういった事業は多いと思いますが、県はやっていないのですか。</p> <p>担当課 県はビジネスコンテストをやっていますが、やり方がちょっと違います。住み分けはしています。県の場合は、しっかり伴走しながらメンター的な役割をしてもらう所まではやってないと思いますので、その点は市独自になると思います。</p> <p>委員長 ある程度、ご意見等は出たと思いますが、他にご意見のある方はいますか。それでは当案件については適で良いですか。</p> <p>委員 はい。</p> <p>事務局 本日の案件につきましてプロポーザルは採用ということで決定を頂きました。ありがとうございました。</p>
	<p>【資料】奈良市成長志向起業家育成事業「NARA STAR PROJECT」業務委託プロポーザル募集要項（案）</p>